



編集・発行

国立大学法人鹿児島大学男女共同参画推進センター 〒890-8580 鹿児島市郡元1-21-24

TEL 099-285-3012 E-mail : gender@kuas.kagoshima-u.ac.jp http://atsuhime.kuas.kagoshima-u.ac.jp/

## ■ 平成27年度第1回男女共同参画推進センター会議開催

男女共同参画推進センターは、平成27年5月8日に、第1回男女共同参画推進センター会議を開催しました。

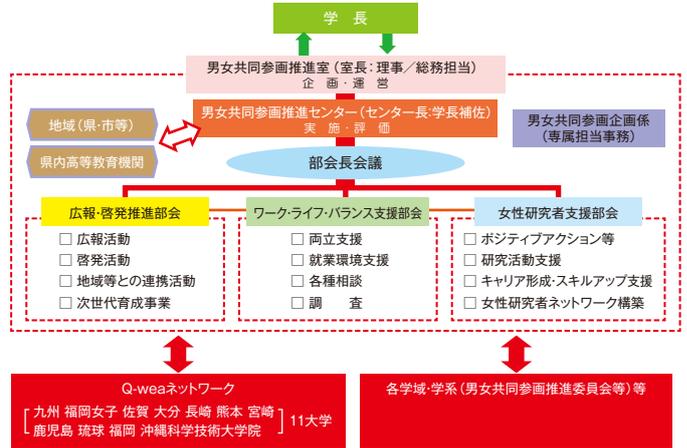
今年度は、平成26年度までの体制を見直し、より機能的に運営が出来るよう男女共同参画推進委員会を廃止し、委員会が所掌していた「自己評価・学内調整」といった業務をセンター会議に統合しました。各学部等には、部局責任者を配置していましたが、センター委員がその役割を担うこととなり、コンパクトな運営体制となったことにより、学部とセンターの情報共有や実施協力体制がよりスムーズになっています。

センター会議では、初めに全体会議が行われ、鈴木センター長より、今年度の活動計画ならびに課題等が説明されました。

その後、出席した委員は、それぞれ、「広報・啓発推進(部会長:前田晶子 法文教育学域教育学系准教授)」「ワークライフバランス支援(部会長:田川まさみ 医歯学域医学系准教授)」「女性研究者支援(部会長:渡部由香 農水産獣医学域農学系准教授)」の3部会に分かれ、活動内容の確認と課題に対する検討等が行われました。

今年度から新たに取り組む内容として、学童保育(夏季休暇中)ならびに本学独自の一時保育支援の実施を予定しています。前者は、昨年度末に1日限定の試行として実施した内容をもう少し充実させた内容となっており、後者は、昨年度まで実施していたベビーシッター利用補助に代わるものとして現在計画中です。

本学の男女共同参画に係る取組は、当センターが主体となって推進して参りますが、センターだけでは、達成出来ないことも多いのが実情です。課題克服、解決のためには、過去の意識調査等でも明らかのように、最終的に、構成員一人一人の意識醸成が最も重要な要素となります。現在取り組んでいる内容や、啓発を行っている意識等があたり前の環境になるよう、引き続き皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。



男女共同参画に係る体制図

## ■ 学長補佐(女性研究者支援担当)就任

本学では、平成28年度に、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」への申請ならびに採択に向け、体制を強化するため、5月1日付で、学長補佐(女性研究者支援担当)を新たに配置、男女共同参画推進センター副センター長として、法文教育学域教育学系の橋口知教授(専門分野:精神医学)が就任しました。今年度は、センター長(男女共同参画担当)、副センター長(女性研究者支援担当)、部会長、センター委員の合計23名の体制となりました。

### 《 橋口知学長補佐の挨拶 》

大学における男女共同参画推進の活動とは、よりよい修学・就業の環境づくりだと捉えています。多様な個人の自分らしい生き方を実現するために、大学として整えていく制度や事業は幅広いものです。また、平成27年12月から導入されるストレスチェック制度の質問項目の中には、個人的な問題の相談をきいてくれる、困った時に頼りになるなど周囲からのサポート状況評価があります。今、ここで必要とされていることや次世代の将来設計からの提案を反映できるようなサポート環境づくりに努めて参ります。よろしくお願いたします。



橋口 知 学長補佐

## ■ 第7回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム事前打合せ会議開催

鹿児島大学は、文部科学省の女性研究者研究活動支援事業採択を機に形成された「九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク(Q-weaネットワーク)」に参加しています。構成大学の持ち回りで、年1回シンポジウムを開催していますが、今年度は、本学が担当します。



初めに挨拶をする島理事

シンポジウム開催に先立ち、5月15日に、本学において事前打合せ会議を開催しました。Q-weaネットワークが実施する打ち合せや学習会は、毎回趣向を凝らした形式で進められ、いつも和やかなムードで始まります。

今回の会議では、九州・沖縄各地より10大学の担当者等が出席し、シンポジウムの内容、実施方法、留意事項等について意見交換を

行いました。

本学は、従来取り組んできた女性研究者支援を軸にして、次の世代の研究者を増やすという一つのテーマに焦点を定めた形式でシンポジウムを開催します。

Q-weaネットワーク構成大学の理事・副学長と若手研究者・大学院生が、直接、本音で意見交換を行うパネルディスカッションが、

目玉となっており、従前のシンポジウムと少し趣を異にしています。オーガナイザーに壽卓三氏(愛媛大学副学長)を迎え、どのような意見が交わされるのか、実施主体の当センターも非常に楽しみです。

このシンポジウムをきっかけに、大学からの一方通行ではない、支援者と被支援者双方にメリットのある取組が見出されることを期待しています。皆さんもぜひ本シンポジウムに足を運んでみて下さい。



会議の様子

# 特集

## 鹿児島大学における女性研究者在籍状況

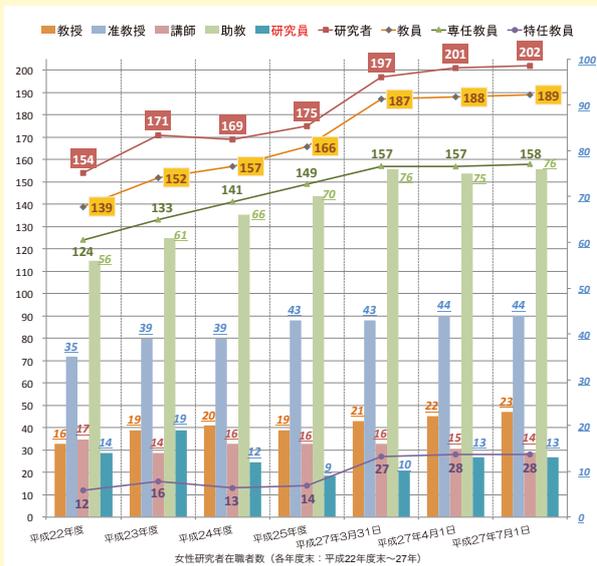


### 《女性研究者増に向けたポジティブ・アクションの推進》

- ・平成32(2020)年までに女性研究者在職比率20%以上及び自然科学系分野における女性研究者採用率25%をめざし、ポジティブ・アクションの積極的な導入を図る。  
(鹿児島大学男女共同参画行動計画)
- ・平成27年度末までに女性研究者在職比率を18%とする。  
(文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」数値目標)



女性研究者在職比率の推移



女性研究者在職者数の推移

平成27年7月1日現在 人数(比率)	
全体	202人(17.4%)+5人(+0.6%)
教員	189人(16.7%)+2人(+0.4%)
専任教員	158人(15.3%)+1人(+0.3%)
自然科学系分野	89人(11.9%)+3人(+0.4%)
理工農水分野	22人(6.2%)-1人(-0.2%)

※右端の数字は、平成26年度末との比較

昨今の運営費交付金縮減の中、新たな取組を進めていくためには、自主財源では、限界に達してきており、外部資金への依存度が高まるものと思います。

しかし、外部資金獲得に関しても、他大学との競争の中で、確実に獲得出来る保証もありません。

大量の教職員採用が見込めない状況で、女性研究者増加に向けた目標の達成・維持を行うには、ライフイベントに関わらず、キャリアを続ける意志のある教職員が、安心して就労出来る環境づくりが重要です。**本人の意思に反する離職を減らすことが、求められています。**

## 司法政策研究科における男女共同参画推進

### 「司法政策研究科における男女共同参画推進」

司法政策研究科は、女子学生の比率(平成27年度)が約6割であり、また、昨年度の修了生も5人中3人を女性がしています。他方、女性教員は、平成22年3月の転出(当時、助教)以降、「ゼロ」という大変不名誉な記録が続いています。

女性研究者支援の整備充実の方策として、「女性研究者(教員)」については、赴任2年後は、研究費配分を10%増やし、研究活動の支援を行う。育児休業等からの復帰支援策として、研究費配分を10%増やし支援することを研究科として決定していますが、肝心の女性教員がおられなければ文字通り画餅にきしてしまいます。

女性教員増にむけて、まず、「1名」の確保を研究科の目標に設定し、教員公募条件として、「業績や能力が同等と認められる場合は、積極的に女性を採用する」とし、くわえて、研究科教員等の人的つながりを利用し

での積極的な勧誘活動にも鋭意努めています。

しかしながら、前回の人事においても、女性の応募者「ゼロ」であり、女性研究者の確保という目的を達成できませんでした。本研究科設置基準との関係(とくに「授業担当教員資格」など)から、若手(大学院修了直後)の、女性研究者を教員として採用することが難しい点に、現状の大きな理由があることは明らかですが、今後とも機会があるごとに、「女性教員の確保」を研究科における男女共同参画推進最大の目標として、全力で取り組んでいきたいと考えています。

□ 執筆者 □

司法政策研究科教員/志田 惣一  
(男女共同参画推進センター委員)



## 女性役員・女性管理職登用目標の設定について

鹿児島大学は、「鹿児島大学男女共同参画基本理念」ならびに「鹿児島大学男女共同参画行動計画」に基づき、引き続き男女共同参画に取組み、女性の活躍出来る環境整備と女性管理職の登用を積極的に推進するため、平成28年4月1日時点の女性役員、女性管理職の在職比率を次のとおり目標設定しました。

	平成28年 4月1日時点の目標	平成26年 4月1日時点
女性役員 (非常勤理事含む)	11.0%	←0.0%
女性管理職	13.7%	←11.0%

## Information

<今後の予定>

- ◆オープンキャンパス企画「ガールズ☆TALK 2015」開催  
日時:平成27年8月1日(土) 11:00~16:00 場所:共通教育棟2号館214、215号講義室
- ◆第7回九州沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム in 鹿児島  
日時:平成27年9月11日(金) 11:00~ 場所:鹿児島大学郡元キャンパス学習交流プラザ
- ◆鹿児島大学夏季休暇中学童保育(試行)「まなVIVA!!」実施  
日時:平成27年7月27~30日、8月17,18,19,25,26,28日の10日間  
8:00~18:00/定員20名(1日につき)  
場所:郡元キャンパス
- ◆公開講座「基本的人権としての性の多様性」  
日時:平成27年10月23日(金) 14:30~ 講師:下敷頼 須美子氏(神戸女子大学教授)
- ◆女子中高生のための鹿大科学体験塾 11月開催予定  
「理系女子(リケジョ)ってカッコイイ!!」